

CSR 報告書 2015

明日を見据え、社会を創る

人と社会の
コミュニケーション

CONTENTS

トップメッセージ

私たちの事業とCSR

CSR詳細情報

企業情報／編集方針

人と地球の
コミュニケーション

安心・安全な
コミュニケーション

チームNTTの
コミュニケーション



最適なキャリアグレードのICTサービスを提供するため、挑戦し続けます

長年にわたりICTを活用して日本の通信インフラを支えてきたエキスパート集団であるNTTコムウェアグループは、最新のICT技術を活用し、「心をつなぐ、社会をつなぐ」をスローガンに、お客さまのビジネスの新しい付加価値を提供してまいりました。

具体的には、NTTの大規模ネットワークの構築・運用で培ったノウハウや震災などの教訓、研究開発の成果を活かし、災害や故障に強いICTサービスを提供し、皆さまのスマートライフ&ワークの実現に向けて取り組んでおります。

昨今の重大な社会的課題であるマイナンバーやセキュリティ、ビッグデータに対しても信頼性の高い技術を積極的に開発・展開しております。また、これらのサービスを提供する「SmartCloud®データセンター」の主要拠点において「SOC2保証報告書 Type2」を取得するなど、お客さまに安心してご利用いただけるよう、重要インフラとしての高い安定性と信頼性および情報セキュリティの確保に取り組んでおります。

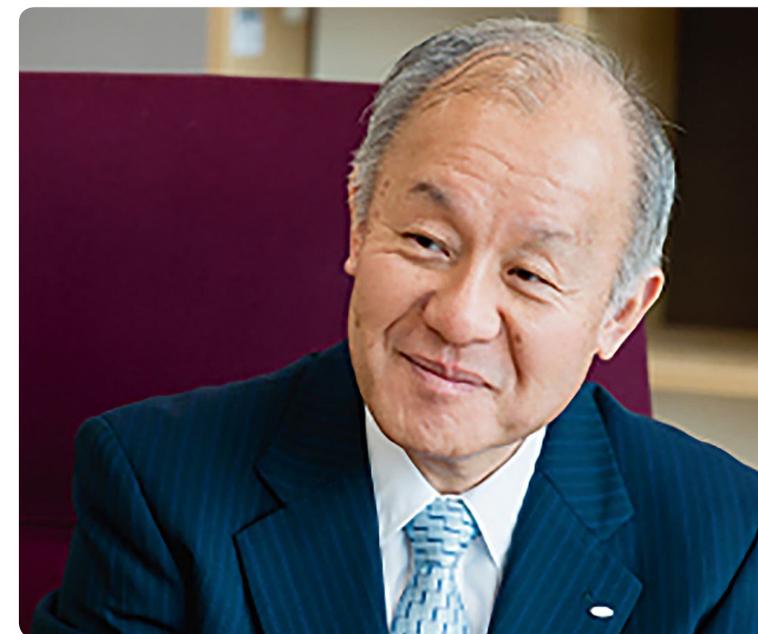
同時に、低炭素型社会の実現に向けて、自社ならびにお客さまの環境負荷低減に寄与する取り組みを継続しております。具体例としてはグリーンICTを追求したソリューションである世界最高レベルの省電力を実現した「SmartCloud®データセンター」の開発、事業運営におけるグリーン化の促進、さらに社員の参画による「企業の森・NTTコムウェア(青梅)」における森林保全活動や屋上緑化などが挙げられます。

また、私たちのサービスを支えるエキスパートを育てていく土壌づくりにも注力しており、大変、光栄なことに社内資格として制度化した「ComCP」が情報処理学会「認定情報技術者(CITP)」の「企業認定」制度の第一陣として認定されました。

こうしたさまざまな取り組みを通じて、お客さまのビジネスの成功と社会の皆さまへの貢献を今後も実現してまいります。

NTTコムウェアグループでは、コンプライアンス・企業倫理や人権などの重要性についても、社員一人ひとりが理解し順守するとともに、ダイバーシティ・マネジメントを重要な経営戦略と位置づけ、女性の採用と育成についても積極的に取り組んでまいります。さらに社会貢献活動や環境活動に取り組んでいくことにより、事業活動を通じた社会的な責任を果たすことに挑戦しながら、チームNTTの一員として、また企業市民として調和のある事業を進めてまいります。

このCSR報告書がステークホルダーの皆さまとの架け橋になることを期待しております。何かお気づきの点などがございましたら、忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げます。

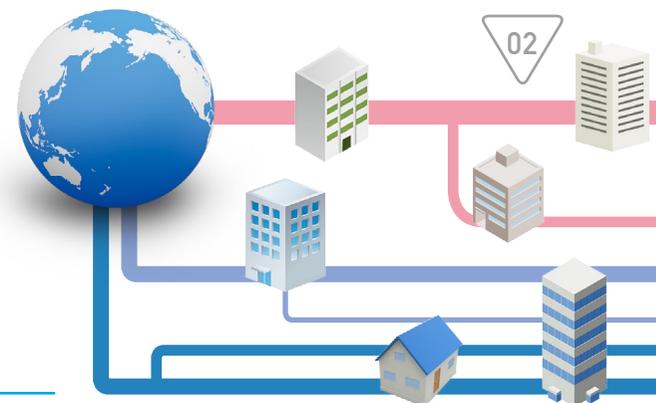


NTTコムウェア株式会社
代表取締役社長

海野 忍

Shinobu Umino

ICTが日常生活に浸透する中、NTTコムウェアのサービス・ソリューションは、社会のさまざまな場面で皆さまの生活を支えています。
また、ICTを悪用した犯罪が社会的に問題となる中、利便性を高めるだけでなく、安心・安全なサービス提供にも積極的に取り組んでいます。



NTTコムウェアグループの主なソリューション

タウン

タンジブル災害対策支援システム

紙地図感覚で操作できる次世代防災システムにより、災害時の迅速な意思決定や情報共有を実現し、自治体の災害対応力の向上や防災対策立案を支援します。

ウェアラブル機器やモバイル機器との連携により、災害対策本部と現場のリアルタイムな情報連携を実現します。



EasyDo

携帯電話でQRコードを読み取り、クレジットカード決済するシステムにより、お客様の利便性向上に役立ちます。

PHISHCUT

電子透かし技術を利用し、インターネットバンキングやインターネットショッピング事業者を装い、個人情報取得・悪用するフィッシング詐欺を防ぎます。FFRI Limosa、FFR yaraiとの連携により、標的型攻撃やMITBマルウェアから情報資産を守ります。



SmartCloudイメージベースAR

画像認識技術を活用して画像から関連動画を再生する、スマートフォンやタブレット端末を使用した新感覚の映像体験を提供します。新聞・雑誌などのメディア事業や、企業プロモーションなどへの活用が期待されています。



Smart Pit

お客様に請求書を発行する必要がない新しい形態のコンビニ収納サービス。よりスピーディーで安価な料金収納代行サービスを提供します。



ビジネス

AdminITy

端末管理ソフトウェアにより、企業のIT資産を適切に管理し、統合的なセキュリティ対策を実現します。



follow (SI版)/follow (SaaS版) / follow Smart Touch

勤務管理システムで従業員の勤務データ集計の効率化や情報管理の高度化を推進します。SI版、SaaS版、タブレット版を提供しています。



SmartCloud

耐災性やセキュリティ、省エネ性能に優れたデータセンターを、資産を持たずに利用できるクラウドサービスで提供します。コンサルティングから構築・運用・移行まで、最適な企業内ICT環境の実現を支援します。



SmartSDN Controller

ネットワークの集中制御を支援するソフトウェアです。ネットワーク全体の稼働状況の集中管理や、故障・ネットワークのトラフィック状況に応じた柔軟な経路変更を実現し、ネットワークの効率的な運用をサポートします。



SmartManual

マニュアル、カタログ、研修資料などの社内コンテンツを電子化し、スマートデバイス(タブレットなど)上で参照できるサービスです。ドキュメント管理の効率化やドキュメントの利用を促進するとともに、利用実態の見え直しを実現し、企業の業務改善を支援します。



2014年度のTOPICS

SmartCloudビッグデータ処理基盤

ビッグデータをクラウド上で活用するための「ビッグデータ処理基盤」です。利用期間や必要リソースに応じた料金体系、クラウド上で最短5営業日のサービス利用を実現しました。また、Hadoopは「MapR」を採用し、パフォーマンスおよびデータの保護性を向上しました。コンサルティング、プラットフォーム構築、活用支援の各サービスと連携し、お客さまビジネスへのビッグデータ活用を幅広く支援します。

2014年11月～

マイナンバー管理ソリューション

企業における従業員のマイナンバーを安全かつ低コストで管理するためのソリューションです。既存の人事・給与システムなどから独立し、CSVにより連携が可能のため、既存システムへの影響やコストを最小限に抑えながら、短期間で導入することが可能です。また、高レベルなセキュリティ・耐災性・運用力を持つデータセンターで情報を管理するため、安全管理も万全です。

2015年3月～

*「EasyDo」、「EasyDo」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「PHISHCUT」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「PictuAR」、「PictuAR」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「AdminITy」、「AdminITy」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「follow」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「SmartCloud」、「SmartCloud」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「SmartManual」、「SmartManual」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「SmartSDN」、「SmartSDN」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。
*「Smart Pit」、「Smart Pit」ロゴは、NTTインターネット株式会社の登録商標です。
*その他、記載されている社名、商品名などは各社の商標または登録商標である場合があります。

企業には、社会の成長と自社の成長を共に実現する「サステナブルな事業戦略」が期待されています。NTTコムウェアは、持続可能な社会に貢献する企業グループで有り続けるため、社会の変化を見据えつつ事業のコンピタンスを活かすCSR活動を推進しています。

NTTコムウェアのコンピタンス

▶ネットワークテクノロジー

NTTグループでは、お客さまに選ばれ続ける“バリューパートナー”をめざし、クラウドサービスを機軸としたグローバル事業展開を積極的に行っています。NTTコムウェアは、NTTグループの情報通信サービスを支える確かな技術力で、オープンでシームレスな先進のネットワークソリューションをご提供し、お客さまの多様化し増大するICTニーズにお応えします。

▶システム&アプリケーション

NTTコムウェアは、NTTグループで培ったビッグデータの取り扱い、ミッションクリティカルなキャリアビジネス、オープンソースに関する豊富な知識・ノウハウなどを柔軟に活用し、さまざまなお客さまが、変化し続ける市場ニーズに的確に対応できるよう、最適なICTサービスをご提案します。

▶サポート&メンテナンス

ビジネスのグローバル化、クラウドサービスの活用など、ネットワークシステムは企業経営のライフラインとなっています。NTTコムウェアはNTTグループの基幹業務を支えてきた実績と経験をもとに、さまざまなお客さまに対応した最小限のコストで最適な運用・保守・監視体制を構築し、お客さまのビジネスを強力にご支援します。

重視している「社会の変化」

人と社会

- 社会のインフラを支えるICT
社会の基盤インフラとして不動となったICT
- IoTの進化
多くの機器がネットワークで繋がり、制御される「新たな社会」

人と地球

- 地球温暖化の進行
急がれる社会の低炭素化
- 生物多様性の減少
人類の持続可能性の観点からも重要な「多様性」
- 資源の「希少化」
途上国の発展と、限りある資源の問題

安心安全

- 「サイバー犯罪」の深刻化
多様かつ巧妙、グローバル化する問題
- 高頻度で続く自然災害
災害の激甚化による、経済的影響の深刻化

チームNTT

- 企業倫理、人権意識の高まり
「ブラック企業」問題など、普遍的命題へと、高まる社会の目
- 少子・高齢化社会の加速
自然災害とならぶ、日本の最大のカントリーリスクが顕在化へ
- コミュニティ参画の浸透
事業特性に即した地域や団体への寄与に高まる期待

マテリアリティの考え方と、重点領域（CSRテーマ）

NTTグループのCSR憲章を踏まえつつ、社会および自社の影響に即し、以下のCSR重点テーマを設定しています。

▶NTTグループCSR憲章



website
NTTグループCSR



ステークホルダーの声に耳を傾け、活かす仕組みづくりは、CSRを実践するための基本です。NTTコムウェアは、日々の対話を重んじ、グループの全ての職場で行動指針を徹底しています。



お客さま・社会

行動指針

▶ 私たちコムウェアグループは、社会の重要な通信インフラ構築を担う企業として、災害に強く、かつ強固なセキュリティ環境を確保した多種多様なサービスの提供を可能とする通信インフラの構築および高度な技術に基づく最適なICTソリューションの提供により、お客さまや社会に安心・安全、便利で快適なコミュニケーション環境を提供することに全力を尽くします。

主な対話の機会

- ▶ お客さま相談窓口
- ▶ webのお問い合わせ窓口
- ▶ 日常業務を通じた対話



株主

行動指針

▶ 私たちコムウェアグループは、高度な技術とノウハウを持って積極的に業務改善に取り組み、NTTグループの競争力向上に寄与することで、NTTの株主に対する価値を高めます。

主な対話の機会

- ▶ 投資家説明会
- ▶ 株主総会
- ▶ 継続的なIR活動



地域社会

行動指針

▶ 私たちコムウェアグループは、豊かな地域社会づくりを推進し、地域社会の課題の解決に取り組み、地域社会に貢献します。

主な対話の機会

- ▶ 地域の方から事業所へのお問い合わせ
- ▶ NGO・NPOとの協業
- ▶ コミュニティへの参画



環境

行動指針

▶ 私たちコムウェアグループは、CO₂削減のため森林資源保護活動に取り組むとともに、自らの環境負荷低減はもとより、事業活動においては、環境アセスメントを取り入れたICTソリューションの提供により、地球環境の保全に貢献します。

主な対話の機会

- ▶ 環境マネジメント監査を通じた意見交換
- ▶ 地域清掃活動
- ▶ 環境保護活動



社員

行動指針

▶ 私たちコムウェアグループは、人権を尊重し、心身ともに健康で明るく風通しの良い活力ある職場づくりに努力するとともに、一人ひとりが知恵を出し合い、自らが全力で行動し、課題の解決に取り組む、お客さまや社会に喜ばれる会社づくりに邁進します。

主な対話の機会

- ▶ ホットライン
- ▶ 社員懇談会・労使の協議
- ▶ 人事面談

日常の全てが、世界の誰もが、ICTでつながる社会へ

私たちの約束 ▶ 私たちは、ICTリーディングカンパニーとして、技術の力と現場の力で、社会の発展に貢献します

ネットワークやモバイル・デバイスの普及・進化により、人々の生活とビジネスに大きな革新をもたらしています。より効率的で、より便利な、スマートな社会へ。私たちは革新的なソリューションの開発を多彩に行っています。

コムウェアが注目している社会の変化

▶ 社会インフラを支えるICT

ネットワークやモバイル・デバイスの普及・進化により、世界各地で高速なネットワークを経由したクラウドサービスの利用が当たり前の時代となっています。

従来のインフラは建造物などのハコもの中心でしたが、動画・メッセージから、ビジネスデータまで多様な情報がネットワークを経由して行き来する現在、ICTは人々の日常生活と切り離せない「社会インフラに不可欠なもの」になっています。

▶ IoT(さまざまなモノのインターネットによる相互接続)がもたらす進化

インターネット・オブ・シングス(IoT)は、「モノのインターネット化」とも呼ばれています。

従来のインターネットの世界は、人同士が、パソコンやスマートフォンなどのIT機器を介してつながっていましたが、IoTでは、家電機器から産業機器に至るまで、あらゆる「モノ」がインターネットにつながり、インターネットを介してモニターしたり「モノ」をコントロールしたりできるようになりました。

こうしたIoTがもたらす進化は、人々が快適に暮らせる社会の実現に向けて期待されています。

人と社会のコミュニケーション 活動ハイライト



私たちのアプローチ



NTTコムウェアは、ICTが日常生活で担う役割の高まりをうけ、社会の安定した発展に貢献するソリューションの開発や提供を重要なビジョンと位置づけ、確かな技術力とICTを活用する現場におけるノウハウの蓄積を続けています。

また、お客さまに期待されるソリューションの大規模化と複雑化が進んでいる中、NTTコムウェアはNTTグループ各社へのソリューションや技術提供を通じて、高品質で信頼性の高いサービスの提供を図っています。

取り組みの柱 ▶ お客さまへの価値提供を通じた持続可能な社会への貢献

進化するCRMソリューション

CRM(Customer Relationship Management)とは、お客さま一人ひとりの深い理解に基づく企業とお客さまの長期的かつ良好な関係を形成する手法・戦略です。これまで、お客さまの属性や購入・問い合わせ履歴などの情報を収集・管理することで実現してきましたが、IoTが社会に浸透すると、お客さまが用いる多様な電子機器が交換する情報によって、より高度なCRMが実現できるようになります。

例えば、スマートフォンのアプリと連携し、近隣エリアに滞在しているお客さまへお勧め店舗をご紹介したり、店舗へ来店したお客さまへお得情報の配信や、クーポン配信などにより、お客さまの嗜好に応じた、おもてなしを実現することが可能になります。

NTTコムウェアでは、お客さまと企業のより良い関係を築いていけるよう、自社の提供するCRMソリューションのさらなる進化を進めています。



次の世代へと、豊かで健やかな地球を託せる社会へ

私たちの約束 ▶ 私たちは、ICTの力を結集し、事業活動におけるグリーン化に向け、日々、挑戦します

ICT機器は、性格上、稼働に電力をはじめとする資源を必要とします。一方、世界規模で低炭素化や循環型社会の実現といった「グリーンな社会づくり」に注目が集まっています。コムウェアは、「グリーン化」をICT企業が提供すべき価値と位置づけ、先進の技術の採用を推進しています。

コムウェアが注目している社会の変化

▶ 地球温暖化の進行

世界的に平均気温が上昇傾向にあり、これが台風の大型化や海水面上昇といった気象問題の引き金として懸念されています。その解決に向け、大気中のCO₂濃度を抑制する取り組みが急がれています。

▶ 生物多様性の減少

気候変動や各地の開発に伴い、地球上の生物の種類は減少傾向にあります。次世代に託すべき大切な地球の財産として、生物多様性の保全に世界規模で取り組みが進んでいます。

▶ 資源の「希少化」

中進国・途上国の経済成長や世界規模での人口増加に伴い、人類が必要とする資源の量は増加傾向にありますが、天然資源は有限であり、特に水や食料の枯渇が懸念されています。より少ない資源を有効に使う社会づくりが必要です。



私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、ICTリーディングカンパニーとして、「Green by ICT」を合言葉に、具体的な取り組み目標を設定し、自社ならびにお客さまの環境負荷低減に寄与する活動を継続しています。

また、それらの活動の成果はさまざまな環境活動を通じNTTグループ全体で共有し、企業をまたぐ取り組みを推進しています。

取り組みの柱 ▶ ① 低炭素型社会の実現 ② 循環型社会の形成 ③ 生物多様性の保全

低炭素化技術の積極的な導入

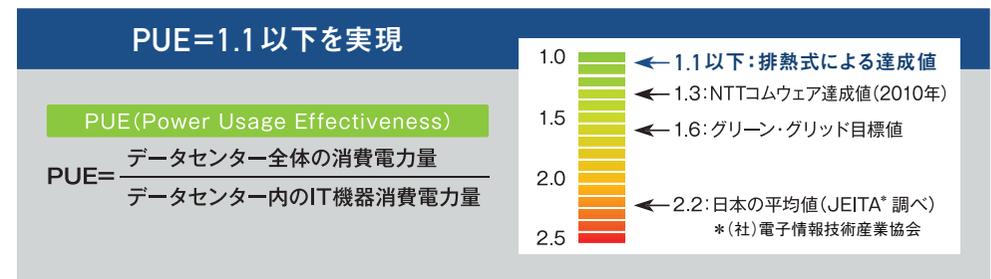
クラウド時代の情報インフラとして、高い環境性能を実現する「SmartCloud®データセンター」

クラウドサービスがビジネスのさまざまな場所で当たり前のように活用されるようになった現在、データセンターの活躍の場も広がっています。この結果、データセンターの省電力化は、社会の低炭素化に貢献するためICT企業が担うべき重要な責務となっています。

NTTコムウェアは、「SmartCloud®データセンター」において、省電力をデータセンターの基本性能の一つに位置づけ、高効率な空調やロスのない直流給電、LED照明といった先進の省電力技術の採用を各地の施設で続けています。この結果、同サービスは国内最高レベルのPUE=1.3を実現したグリーンなデータセンターサービスとなっています。

また、NTTコムウェアのデータセンターは、委託業務の内部統制に関する外部保証であるService Organization Control レポートフレームワークの「SOC1 Type2」および「SOC2 Type2」の監査を行っており、独立監査法人により保証報告書を受領し、お客さまの監査対応を軽減しています。

▶ 先進のグリーンITを追求



*NTTコムウェアはデータセンターの省電力化を推進する非営利団体「グリーン・グリッド」へ参画しています。

全ての人々が安心・安全に暮らせる、ICTに守られた社会へ

私たちの約束 ▶ 私たちは、情報インフラ企業の使命を胸に、皆さまの安心で安全な生活を支え、守ります。

ICTが社会に浸透するにつれ、日常生活はより快適に、経済活動はより効率的になっています。しかし同時に、ICTを悪用した犯罪の出現や、自然災害など有事における通信の途絶といった、新たな社会的な課題も生まれています。便利であると同時に、安全・安心な社会へ。私たちは「社会を守るICT」を全員で考えています。

コムウェアが注目している社会の変化

▶ 「サイバー犯罪」の深刻化

ICT技術が日々進化する中で、ウイルスなどネットワークに潜み財産や情報の破壊や持ち出しを行うような脅威も、日々、生まれ続けています。これらの脅威を解決する技術やサービスを開発し、安心・安全な社会を維持する仕組みの必要性が高まっています。

▶ 高頻度で続く自然災害

気候変動に伴う気象災害の激甚化や、地球の地殻変動による地震・火山の活発化などが、世界規模で発生しています。このような自然災害による被害を最小限に抑え、常につなぎ続けられる情報通信ネットワークづくりを心掛けることは、ICT企業の本質的な責務といえます。

安心・安全なコミュニケーション 活動ハイライト



私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、情報インフラに従事するNTTグループの一員として、その円滑な運用・保守を実現する事業体制を整備しています。また、ネットワーク技術の進化に伴い発生し続ける新たなセキュリティリスクに対しても信頼性の高い技術を積極的に開発・展開しています。「安心・安全」の提供を通じ、お客さまの満足、ひいては社会の皆さまの信頼を得られるよう、日々、取り組んでいます。



取り組みの柱 ▶ ①重要インフラとしての高い安定性と信頼性の確保 ②情報セキュリティの確保 ③情報セキュリティの人材の育成 ④お客さま満足の向上

セキュアな製品・サービスの開発・提供

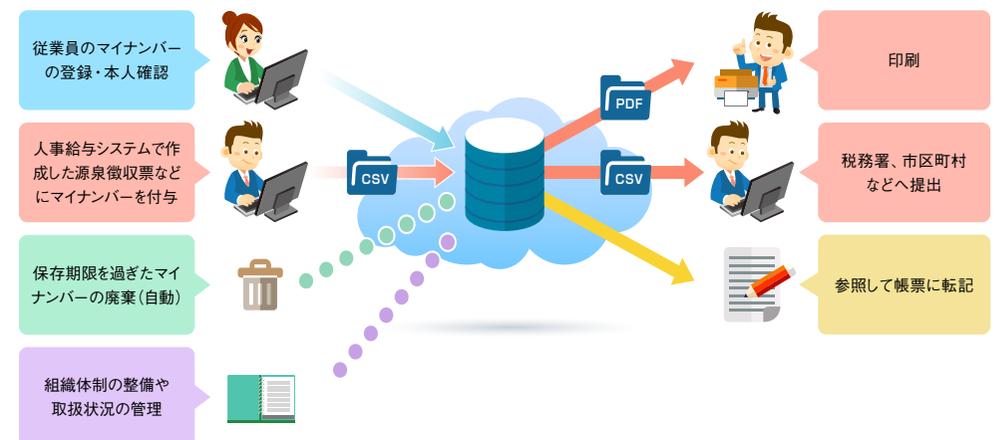
マイナンバー制度の導入を安心・安全に実現する「マイナンバー管理ソリューション」

マイナンバーとは、日本政府が国民一人ひとりに「共通番号」を割り当て、個人の所得や年金、納税などの情報を一括管理する制度のことです。同制度では、2015年10月から個人に番号通知が行われ、2016年1月より行政手続きでの利用が開始されます。

同制度の施行をうけ、日本企業では、従業員の行政手続きにマイナンバーが必要となるため、運用体制の整備を急いでいます。そのうえ、マイナンバーは性格上、厳格な管理が求められており、対応に不備がある場合は法律違反となる可能性もあります。

これを踏まえ、NTTコムウェアは、複雑な同制度をクラウド技術により円滑に導入いただける「マイナンバー管理ソリューション」を開発しました。同サービスには、NTTコムウェアが数十万規模の人事・給与システムで構築したノウハウが活用されています。また各種情報は、通信キャリアにも利用される高信頼で強固なセキュリティを備えたサーバーで運用されます。これにより、新たな社会の仕組みが幅広い企業に円滑に導入できるお手伝いをしていきます。

▶ マイナンバー管理ソリューション



多様性が尊重され、皆が生き生きと暮らす社会へ

私たちの約束 ▶ 私たちは、チームとして、企業市民として、調和ある事業を進めていきます。

人種や信教、身体的特徴が個性として尊重され、一人ひとりの力が活かされる社会の実現と、多様な社会的集団が調和しつつ共栄する社会の実現は、共に、人類全体の課題として取り組まれてきました。多様性の尊重と、社会のさまざまなコミュニティとの連携は、経済のグローバル化、社会のボーダレス化を受け、その重要度を増し続けています。

コムウェアが注目している社会の変化

▶ 企業倫理、人権意識の高まり

法令順守はもちろん、人権を尊重し倫理的な行動を徹底することは、企業が全ての職場で順守すべき責務です。こうした行いに対し、社会の目は厳しさをましており、ソーシャルメディアの普及の影響などもあり、内外より厳しく批判される事象が多発しています。

▶ 少子・高齢化社会の加速

先進国では少子高齢化が主なカントリーリスクの一つに数えられるようになりました。特に日本でも2060年以降、4人に一人が65歳以上という未曾有の高齢化社会を迎えるという推計が政府より出されており、多様性を活かす社会の仕組みづくりが急がれています。

▶ コミュニティ参画の浸透

企業が社会を構成する多様な共同体(コミュニティ)を尊重し共働することは、持続可能な社会づくりに全てのステークホルダーが力を合わせる「エンゲージメント」の手法として注目を集めています。既に内外の多くの企業がコミュニティへの参画を加速しています。

チームNTTのコミュニケーション 活動ハイライト



私たちのアプローチ



NTTコムウェアは、持続可能な事業活動を通じてお客さまや社会の皆さまに信頼され続けるため、調和のとれた事業運営に取り組んでいます。法令順守はもちろんのこと、共に働く人々への公正な処遇や多様性の尊重、地域社会への貢献などを柱に据え、さまざまな活動を推進しています。これらの活動は「チームNTT」としてNTTグループ横断で取り組んでいる活動であり、NTTコムウェアのCSR志向経営の基盤ともなっています。

取り組みの柱 ▶ ① 企業倫理・コンプライアンス意識の向上 ② 多様性の尊重と機会均等に受けた取り組み ③ 心身の健康増進 ④ 社会貢献活動の実施

多様性を活かす経営

多様性は社員を幸せに導く手段の一つ

NTTグループでは、性別や年齢、人種、国籍、障がいの有無などに関わらず、多様な人材が活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

これをうけ、NTTコムウェアでは、多様性を重要な経営戦略であると同時に社員を幸せに導く手段の一つとして位置づけ、多様性を促進し、最大限活用することにより、企業パフォーマンスを向上させる施策に取り組んでいます。

具体的には、経営トップ層である全役員・全支店長が率先し、全社員へ向けたダイバーシティ推進メッセージを発信することで、全社で多様性を尊重しあえる企業風土の醸成を図っています。また、「育児と仕事の両立の支援」「介護による離職防止」「女性リーダー層社員の育成」「多様性を活かす職場づくり」などを重視し、会社主催のセミナーの開催にとどまらず、各職場単位での取り組み、社員自律型の取り組みなどを多面的に推進しています。

▶ 2014年度、主な活動の例

育児休職者セミナー
年 **2** 回実施

復職者セミナー
年 **2** 回実施

女性リーダー層WG
年 **3** 回実施

多様性尊重に向けた研修
年 **2** 回実施

男女マネージャ会
年 **3** 回実施

安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献



NTTコムウェアグループは、情報通信の基盤を担う責任ある企業群として、安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

NTTコムウェアグループのCSRの考え方

NTTコムウェアグループにおけるCSRは、お客さまをはじめとする幅広いステークホルダーに価値を提供しつつ、社会全体の持続的発展に寄与しようとするものです。NTTグループが一体となった取り組みに参画しながら、同時に“NTTコムウェアグループらしさ”も追求しています。

NTTコムウェアグループCSR活動指針

私たちコムウェアグループは、高い倫理観を持ち、地球、社会の一員としての自覚のもとに、情報通信の基盤を担う責任ある企業群として、最新技術によるネットワークの構築やICTソリューションの提供を通じて、安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

NTTコムウェアのビジョン

▶ アイデンティティ

NTTコムウェアは、システムの品質と信頼性を追求し、豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

▶ 価値・行動基準

- お客様のために
お客様の永続的な発展のために、ともに考え、ともに行動します。
- 株主様のために
企業価値向上のために、プロフェッショナルを目指します・育てます。
- 社会のために
社会の安定のために社会の一員としての役割を果たし、ルールを守ります。
- 上司、部下、同僚のために
最高のチームパフォーマンスのために、“わかっているけど誰もやっていない仕事”に、進んで取り組みます。
- 自分自身のために
自分の夢を実現するために、自らの可能性を信じ、〇〇し続けます。

▶ 人権基本方針

NTTコムウェアグループは、「人間を尊重し、同和問題をはじめ、あらゆる差別を許さない企業体質の確立をめざす」ことを基本方針とし、人権啓発に関するさまざまな取り組みを実施しています。



2014年度の主なCSR活動実績と2015年度の施策



NTTコムウェアグループでは、NTTグループのCSRテーマ、重点活動項目に沿ってCSR活動を整理し、取り組んでいます。

NTTグループのCSRテーマ	重点活動項目	主な取り組み	2014年度の実績	自己評価	2015年度の施策
I. 人と社会のコミュニケーション	お客さまへの価値提供を通じた持続可能な社会への貢献	新サービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> 企業における従業員のマイナンバーを安全かつ低コストで管理する、「マイナンバー管理ソリューション」を提供開始 Android^{*1}、iOS^{*2}のタブレットやスマートフォンを打撃機として利用できるSaaS型の勤務管理サービス「follow Smart Touch」を提供開始 	○	<ul style="list-style-type: none"> テレビやスマートデバイスを活用し、安心・安全・便利に使っていただけるような、新たなサービスやユーザーインターフェースを創造 NTTグループと連携したコミュニケーションを活性化させる「スマートコミュニティ」向けソリューションの創出・提供
	低炭素社会の実現	電力消費量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 電力消費量 157百万kwh(2013年度に対して4%削減) 	○	<ul style="list-style-type: none"> データセンター:高効率空調・電力設備へ更改、空調環境改善、マシン撤去 オフィスビル:空調設備の効率的な運転、照明・OA機器の節電
II. 人と地球のコミュニケーション	循環型社会の形成	産廃物最終処分量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物のリサイクル率 99% (2013年度に対する増減無し) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物のリサイクル率の前年度実績維持
		紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> OA用紙購入箱数 本社:6,483箱(2013年度に対して22%の削減)、支店:3,119箱 	○	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス会議などによるOA用紙の抑止(OA用紙購入量 8,600箱以下)
		生物多様性の保全	事業活動を軸とした展開	<ul style="list-style-type: none"> 「企業の森・NTTコムウェアの森(青梅)」の森における環境勉強会 	○
III. 安心・安全なコミュニケーション	重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保	大規模災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> NTTコムウェアグループ災害対策訓練の実施 災害対策本部員 基本行動訓練の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> コムウェア全社災害対策本部、各組織災害対策本部の機能整備 組織間連携を踏まえた災害対策オペレーションの充実 全社災害対策訓練の実施
	情報セキュリティの確保	情報漏えいの防止	<ul style="list-style-type: none"> ISMS統合審査合格(8/27)、非管理検知システム・全支店へ拡大完了 JIS Q 27001規格変更に伴うルール改訂、教育、監査員研修を完了 	○	<ul style="list-style-type: none"> 各組織の推進機能定着に向けたルール/施策の展開
		セキュリティ意識の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> 全社員・協働者を対象にした情報セキュリティ・個人情報保護研修の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ意識向上のため、全社員・協働者を対象にした情報セキュリティ・個人情報保護研修の実施
		セキュリティ活動の改善、定着・維持	<ul style="list-style-type: none"> 技術者育成研修、セキュリティコンテスト開催 	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ人材の創出・育成、セキュリティコンテスト開催
	お客さま満足に向けた取り組み ^{*3}	品質向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 品質マネジメントシステム(QMS)の継続的な取り組み ITサービスマネジメントシステム(ITSMS)の継続的な取り組み 	○	<ul style="list-style-type: none"> 品質マネジメントシステム(QMS)の継続的な取り組み ITサービスマネジメントシステム(ITSMS)の継続的な取り組み
	CS ^{*4} 改善サイクルの定着化	<ul style="list-style-type: none"> お客さまのご意見・ご要望をもとに継続的な改善取り組みを実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> お客さまのご意見・ご要望をもとに継続的な改善取り組みを実施 	
IV. チームNTTのコミュニケーション	企業倫理・コンプライアンス意識の向上 ^{*3}	倫理観の高揚と不正・不祥事の回避	<ul style="list-style-type: none"> 経営幹部層へのコンプライアンス研修の実施 コンプライアンス標語の募集・表彰・掲示など WBT^{*5}による企業倫理研修(全社員)の実施 社員意識アンケート調査の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 階層別コンプライアンス研修の実施(経営層、部長、課長、SP・主査) コンプライアンス標語の募集・表彰・掲示など WBT^{*5}による企業倫理研修(全社員)の実施 社員意識調査の実施
		人権啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 階層別研修およびWBT^{*5}による全社員研修の実施 人権標語の募集(10月)と表彰 人権職場学習会の実施(本社、支店) CSR研修(WBT^{*5})と同時に社員意識調査を実施(2月) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 階層別研修およびWBT^{*5}による全社員研修の実施 人権標語の募集および社内掲示による啓発活動の実施 人権啓発推進者研修と人権職場学習会の実施 社員意識アンケート調査の実施
	多様性の尊重と機会均等に向けた取り組み	多様な働き方の支援	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理者比率 3.1%(2015年4月1日現在) 育児休職復職者への各種支援の実施(セミナー、面談など) 女性リーダー層WG(CoLORS^{*6})開催 	○	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理者比率(2020年度6.0%) 女性リーダー層WG/男女マネージャ会の実施 ダイバーシティ推進セミナー(介護) 育児休職復職者への各種支援の実施(セミナー、面談など)
		障がい者の受け入れ・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用率 2.07%(2015年3月1日現在) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者雇用率の維持・向上
	心身の健康増進 ^{*3}	メンタルヘルス教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断受診 100% 管理者メンタルヘルス研修 95%受講 メンタルチェック実施率 97.3% 新入社員・新任管理者の面談 100%実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の完全実施 メンタルヘルス休業者:1%未満
	社会貢献活動の実施	社員参加型による取り組み	<ul style="list-style-type: none"> エコキャップ推進運動への参加(NTTコムウェアグループ全体) 地域清掃活動への参加(NTTコムウェアグループ全体) ミニバレーボール大会の開催(北海道支店) ボランティアギフト・プログラム(NTTコムウェアグループ全体) 「丸の内キッズジャンボリー」での子供マナー教育の実施(NTTコムウェア株式会社) TABLE FOR TWOへの参加(NTTコムウェア株式会社) ベルマーク運動(西日本支店) 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「社員参加型」、「事業特性」、「地球環境保護」の3つの視点から活動テーマを設定し、自主的な取り組みによる社会貢献活動を積極的に推進 「*」のエコキャップ運動、各種清掃活動への参加は、NTTグループ共通の活動テーマでもあり、引き続き積極的に取り組む
		事業特性にマッチした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 全国のNPO法人へ30台のPCを寄贈(NTTコムウェア株式会社) 	○	
地球環境保護に対する取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 多摩川クリーンキャンペーン(御嶽渓谷)への参加 屋上緑化の取り組み(西日本支店) プルタブの収集(東日本支店) 「東村山中央公園森林整備作業」への参加(NTTインターネット) 	○		

^{*1} Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

^{*2} iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。

^{*3} NTTコムウェアグループとしてのCSR重点活動項目

^{*4} Customer Satisfaction(お客さま満足)

^{*5} Web Based Training(インターネットを利用した教育学習システム)

^{*6} Comware[企業、会社]、Life[人生]、Opportunity[機会]、Relationship[関係性]、Synergy[相乗効果]

企業概要

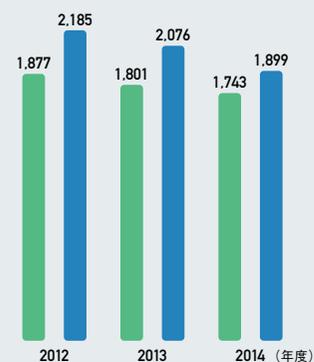
社名 エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 (略称:NTTコムウェア)
本社所在地 〒108-8019 東京都港区港南1-9-1 NTT品川TWINSアネックスビル
資本金 200億円
株主 日本電信電話株式会社
創業 1997年9月1日

グループ会社

NTTインターネット株式会社

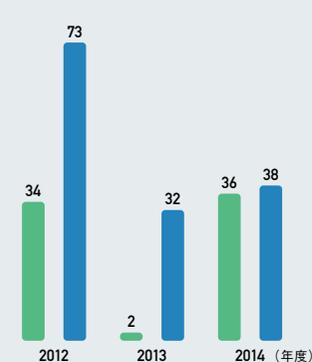
*2014年7月1日に5グループ会社を支店として統合しました。

売上高
(億円)



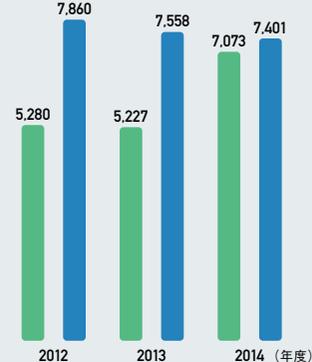
■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

営業利益
(億円)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

社員数
(人)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

編集にあたって

NTTコムウェアグループは、2007年度より「NTTコムウェアグループCSR報告書」を発行し、CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) 活動の状況を皆さまにお伝えしています。2015年度版は2013年度版から引き続き、社会に対する影響が大きくかつNTTコムウェアグループにとっても重要度の高いテーマを中心にダイジェスト版としてまとめました。NTTグループ全体のCSR活動との調和を図るために、報告内容の整理にあたってNTTグループCSR憲章を参照しました。

ステークホルダーの皆さまとの活発なコミュニケーションが生まれるよう、NTTコムウェアグループのCSR活動をわかりやすくご報告しております。

報告対象組織

原則として、NTTコムウェアグループ全体の取り組みについて報告しています。なお、NTTコムウェア単独または各グループ会社の取り組みについて報告している箇所では、それぞれの名称をあげています。

報告対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日
(一部、2015年4月以降の取り組みについても報告しています。)

参考ガイドライン

GRIサステナビリティレポートガイドライン(G4版)

発行時期

2015年11月(前回発行2014年10月)

* 人名、団体名、公共機関名などは原則として敬称を略しています。
* その他記載されている社名、商品名は各社の商標または、登録商標である場合があります。

お問い合わせ窓口

NTTコムウェア株式会社
総務人事部 CSR推進室
〒108-8019 東京都港区港南1-9-1
NTT品川TWINSアネックスビル
Tel: 03-5463-5756
Fax: 03-5479-9218
E-mail: csr@nttcom.co.jp



エコICTマーク

「エコICTマーク」とは、ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会が定めるシンボルマークです。電気通信事業者が適切にCO₂排出削減の取り組みを自己評価し、その取り組み状況に応じて「エコICTマーク」を表示し、適切に活動していることを広く公表することができます。

NTTコムウェアは、電気通信事業に関わる企業としてCO₂削減に取り組んでまいります。